総合型地域スポーツクラブ「ふちゅうスポーツクラブ」

スポーツ振興くじ（toto・BIG）の収益が役立てられた活動により、スポーツを通じて地域振興を目指す

総合型地域スポーツクラブが全市町村に設置され、年齢や性別を問わず誰もが楽しめるよう多彩なスポーツプログラムを展開している富山県。そのひとつ「NPO法人ふちゅうスポーツクラブ」（富山市）は平成16年に設立し、以来、健康スポーツ教室をはじめ、各種セミナーやイベントを開催してきた。スポーツ振興くじ（toto・BIG）の収益を活用し、スポーツを通じて楽しく豊かなまちづくりを目指している。

希薄になった地域のつながりをスポーツが結びつける

金曜午後5時30分の婦中体育館。年中と年長児対象の『からだであそぼっ！』教室が始まった。かけっこや鉄棒、体操などに挑戦する通年教室で、基礎体力を身につける。20名が1時間に渡って跳んだり走ったり。のびのび体を動かす子どもたちに汗と笑顔が輝く。

ここに来ることを「ふらっと行ってくる」という子どもたち。〝ふらっと〟とは「ふちゅうスポーツクラブ」の愛称だ。合併前の町名・婦中町の「ふ」に、その名の通り「気軽にふらりと」をかけ、さらにフラット＝「平等に」の願いも込められている。

現在、約750名の会員を有し、45のスポーツ教室を開講する同クラブ。「生涯を通じて仲間づくりをサポートする」「いろいろなスポーツを楽しむ」「子どもたちが心豊かに育つ」「家族で参加し世代や地域をつなぐ」が基本の理念だ。

発足は、地域の結びつきが希薄になったことへの危惧から始まった。折しも生涯スポーツを考えるという機会が重なった。ならばスポーツを通じて世代や地域をつなぎ、明るい町づくりを目指そうと設立に至った。

のびのびと体を動かす子どもたち。このような日常が子どもたちの心を育む。

だが、当初、反応は冷ややかだったらしい。「体育館やグラウンドなどそれまで無料で使っていた施設なのに、なぜ有料になるのか、と。スポーツにお金をかける習慣が馴染まず、自主的な意識に変えるのは大変なことでした」と中谷忠義副理事長は話す。

地域と健康を支えるスポーツ振興くじの助成金

一方で、徐々にクラブに入会する人も増えてきた。支払ったお金以上の満足感や、スポーツ活動に対する価値が共感されつつある。「スポーツ活動は人と人を結びつけていくのだと肌で感じますね」と宮脇範純理事長。QOL（生活の質）が高くなったと実感してもらっていることも、会員さんから伝わってくるという。

「スポーツ振興くじの助成金も本当にありがたいですね。備品が整えられるし、講師のレベルも上げられます」。財政難であることに変わりはないが、助成金を得ることで会員に還元しようと努め、クラブを軌道に乗せてきた。

「クラブの設立によって、それまでは競技スポーツ中心であったのが、自分の生きがいや楽しみとしてのスポーツに変わってきたんです。ここで行われるコミュニケーションは、何にも代え難い地域振興ですね」と宮脇理事長は胸を張る。

「もしこのクラブがなかったら、そしてスポーツ振興くじの助成もなかったら、どうなっていたんでしょう、想像できませんね」と語るのは中谷副理事長。今後もスポーツ振興くじの助成を最大限に生かし、さらなるサービスを目指すという。それは仲間づくり、地域づくり、健康づくり、ひいては医療費削減にもつながると確信している。

NPO法人ふちゅうスポーツクラブ理事長
宮脇範純さん

生涯スポーツ社会を目指して

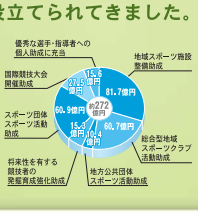
2010年、日本国民はバンクーバー五輪とサッカー・ワールドカップ（W杯）南アフリカ大会での日本代表の活躍に、沸き返った。両大会を現地で取材し、スポーツが持つ驚くべきエネルギーを改めて実感した。この「見るスポーツ」の感動を、自らが「行うスポーツ」への動機付けに出来ないだろうか。子どもも青年も、熟年もお年寄りも、都会の人も地方在住者も、誰もが、どこでも、自分に適したスポーツを楽しむ社会は、国民を健康にし、幸福にする。文部科学省が打ち出した〈スポーツ立国戦略〉での一番手の戦略は「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」だ。21世紀における、我が国でのスポーツの地位を高めて行きたい。

読売新聞東京本社編集局部長
（五輪担当・サッカー推進事務局）
塩見要次郎

あなたの街のさまざまなスポーツ振興に役立てられているスポーツ振興くじ toto BIG の助成金

スポーツ振興くじの収益による助成は、平成14年度から開始されています。これまでに約272億円の助成を行い、日本のスポーツ振興に役立てられてきました。

収益の1/3は国庫に納付され、教育・文化の振興、自然環境の保全、青少年の健全育成等の事業に、2/3がスポーツ振興事業に充てられます。助成は平成14年度から開始されており、これまでに約272億円の助成が行われ、日本のスポーツ振興のために役立てられてきました。（平成22年度は配分額を合算）



スポーツ振興くじ収益金

スポーツ普及に対する助成

地域スポーツ施設整備助成	グラウンドの芝生化など、地域住民が身近にスポーツを楽しめる施設の整備の促進を図ることを目的とします。
総合型地域スポーツクラブ活動助成	地域住民が気軽にスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの育成を図ることを目的とします。
地方公共団体スポーツ活動助成	スポーツ教室・大会等の開催など、地域住民のスポーツ活動の活性化を促進することを目的とします。
国際競技大会開催助成	国内での国際競技大会の開催を円滑に行うことを目的とします。

競技力向上に対する助成

将来性を有する競技者の発掘育成強化助成	将来性を有する競技者を発掘し、育成を強化する体制の整備を図ることを目的とします。
スポーツ団体スポーツ活動助成	スポーツ教室や大会の開催、スポーツ指導者海外研修など、国内のスポーツ活動強化を図ることを目的とします。
国際競技大会開催助成	オリンピック競技大会、アジア競技大会など、国内での国際競技大会の開催を円滑に行うことを目的とします。

2010年10月29日　読売新聞朝刊掲載